

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「MSCIインデックス・セレクト・ファンド コクサイ・ポートフォリオ」は、このたび、第21期の決算を行いました。

当ファンドは日本を除く世界各国の株式（DR（預託証券）およびカントリーファンドを含みます。）を実質的な主要投資対象とし、投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、積極的な運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



# MSCIインデックス・ セレクト・ファンド コクサイ・ポートフォリオ

追加型投信／海外／株式／インデックス型



### 第21期末(2018年11月19日)

基準価額	22,465円
純資産総額	2,339百万円
第21期	
騰落率	2.3%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

## 交付運用報告書

第21期

(決算日 2018年11月19日)

作成対象期間 (2017年11月21日～2018年11月19日)

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
右記<お問い合わせ先>のホームページにアクセスし、「ファンダー一覧」等から運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

## インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<お問い合わせ先>

お問い合わせダイヤル：(03)6447-3100  
(受付時間：毎営業日の午前9時から午後5時)

ホームページ <http://www.invesco.co.jp/>

UD  
FONT  
見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2017年11月21日～2018年11月19日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSC I コクサイ・インデックス(円換算ベース)は、期首(2017年11月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) MSC I コクサイ・インデックス(円換算ベース)は、ベンチマークです。ベンチマークの詳細は11ページをご参照ください。

## ○基準価額の主な変動要因

## [上昇要因]

- ・日本を除く世界各国の株式(DR(預託証券)およびカントリーファンドを含みます。以下同じです。)を実質的な主要投資対象としているため、イスラエル、ニュージーランド、米国などの株式市場が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。
- ・実質外貨建資産の対円での為替ヘッジを行わなかったため、米ドル、ニュージーランドドルなどが対円で上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

## [下落要因]

- ・ベルギー、アイルランド、ドイツなどの株式市場が下落したことが、基準価額の下落要因となりました。
- ・ユーロ、英ポンド、オーストラリアドルなどが対円で下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

(2017年11月21日～2018年11月19日)

## 1 万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	220	0.969	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	( 98)	(0.431)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
( 販 売 会 社 )	( 98)	(0.431)	購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
( 受 託 会 社 )	( 24)	(0.108)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	3	0.015	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
( 株 式 )	( 2)	(0.007)	※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
( 投 資 信 託 証 券 )	( 0)	(0.000)	
( 先 物 ・ オ プ シ ョ ン )	( 2)	(0.008)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.003	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
( 株 式 )	( 1)	(0.003)	※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 投 資 信 託 証 券 )	( 0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	33	0.144	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 11)	(0.051)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 7)	(0.033)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 費 用 )	( 13)	(0.055)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
( そ の 他 )	( 1)	(0.006)	その他は、外国有価証券に係る税金および信託事務の処理に要するその他の費用等
合 計	257	1.131	
期中の平均基準価額は、22,656円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2013年11月19日～2018年11月19日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSC I コクサイ・インデックス(円換算ベース)は、2013年11月19日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2013年11月19日 決算日	2014年11月19日 決算日	2015年11月19日 決算日	2016年11月21日 決算日	2017年11月20日 決算日	2018年11月19日 決算日
基準価額 (円)	14,799	18,867	19,620	17,940	21,957	22,465
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	27.5	4.0	△ 8.6	22.4	2.3
MSC I コクサイ・インデックス(円換算ベース)騰落率 (%)	—	25.9	2.6	△ 9.8	21.1	1.1
純資産総額 (百万円)	2,367	2,511	2,487	2,080	2,318	2,339

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) MSC I コクサイ・インデックス(円換算ベース)は、ベンチマークです。ベンチマークの詳細は11ページをご参照ください。

(2017年11月21日～2018年11月19日)

## 投資環境

S & P 500 指数 (米国)	+4.2%	F T S E 100 指数 (イギリス)	△5.3%
D A X 指数 (ドイツ)	△13.9%	C A C 40 指数 (フランス)	△6.6%
米ドル/円	112円73銭 (前期末112円19銭)	ユーロ/円	128円61銭 (前期末131円76銭)

※株価指数の騰落率は当期末時点 (対前期末比)、米ドル/円およびユーロ/円は当期末の数値です。

## ＜米国株式市場＞

米国株式市場は、2018年2月、3月および10月以降と、米国金利の上昇や米中貿易摩擦の激化に対する懸念などから軟調に推移する局面もあったものの、①雇用統計を中心に米国経済の基礎的条件（ファンダメンタルズ）が比較的堅調さを保ったこと、②良好な企業決算一などに支えられ、株価は前期末比で上昇して期末を迎えました。

## ＜欧州株式市場＞

欧州株式市場は下落しました。企業決算が比較的良好だったものの、①イタリアやドイツの政局不安が嫌気されたこと、②2018年8月のトルコ通貨急落を受けて経済関係が密接である欧州全体で投資家心理が悪化したこと一などから、ドイツを中心に、当期末の株価水準は前期末を大きく下回りました。英国の株式市場は、英国の欧州連合（EU）からの離脱（ブレグジット）をめぐる交渉が難航していることが大きな足かせとなり、株価が下落しました。

## ＜アジア株式市場＞

アジアの先進国株式市場（除く日本）は期を通じて大きく下落しました。①中国の製造業購買担当者指数（PMI）の悪化などから中国経済の先行き不透明感が台頭したこと、②米中貿易摩擦の激化により投資家心理が冷え込んだこと一などから、当期末の株価は前期末を下回りました。

## ＜為替市場＞

期初1米ドル112円台前半だった米ドル/円レートは、2018年2月以降の米国金利の急騰や米中貿易摩擦の激化を嫌気した投資家のリスク回避姿勢の強まりなどから一時104円台まで下落したものの、米国の良好なファンダメンタルズにより利上げペースの加速が意識されたことによる日米金利差の拡大一などを材料に米ドルは再び対円で上昇に転じ、期末には112円台後半となりました。

期初1ユーロ131円台だったユーロ/円レートは、①イタリアやドイツの政局不安、②トルコリラの急落一などからユーロが対円で下落し、128円台で期末を迎えました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2017年11月21日～2018年11月19日)

主として、MSC I コクサイ・インデックス・マザーファンド（以下、マザーファンドといいます。）に投資を行い、マザーファンドを通じて、日本を除く世界各国の株式に投資を行いました。また、実質外貨建資産の投資に当たっては、為替ヘッジを行いませんでした。

マザーファンドでは、主として日本を除く世界各国の株式を投資対象とし、MSC I コクサイ・インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果を目指しました。

具体的には、ファンド内のキャッシュポジションを低位に保ちながら、保有する銘柄のコーポレートアクション（買収、増資、スピノフなど）に対応した結果、ほぼベンチマークに連動したパフォーマンスとなりました。

2017年11月末、2018年2月末、5月末、8月末にベンチマーク採用銘柄の入れ替え（Quarterly Index Review）が行われましたが、ファンドでもこれに対応するための売買を行い、ベンチマークへの連動性を維持する運用を行いました。

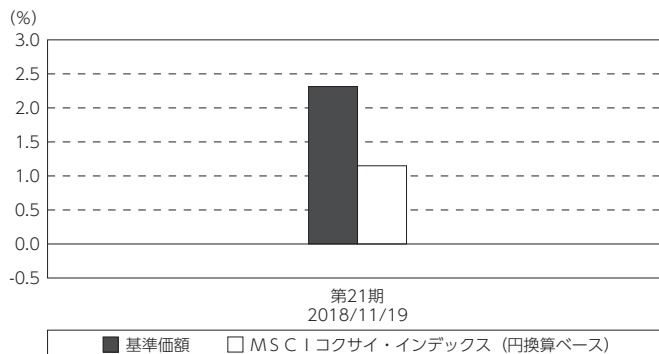
## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2017年11月21日～2018年11月19日)

当期の基準価額騰落率は+2.3%となり、ベンチマークであるMSC I コクサイ・インデックス（円換算ベース）の騰落率+1.1%を上回る結果となりました。

一般的に、インデックス・ファンドのパフォーマンスがベンチマークから乖離する要因としては、配当金（プラス要因）、信託報酬（マイナス要因）、取引や管理にかかるコスト（マイナス要因）による要因の他、個別銘柄の組入比率がファンドとベンチマークで若干乖離していることによる要因や、ファンド内でキャッシュを保有していることによる要因などがありますが、当期においては主に配当金の要因によりプラスの乖離となりました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) MSC I コクサイ・インデックス（円換算ベース）は、ベンチマークです。ベンチマークの詳細は11ページをご参照ください。

(2017年11月21日～2018年11月19日)

**分配金**

収益分配金につきましては、基準価額水準などを勘案し、当期は見送りとさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、投資信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第21期
	2017年11月21日 ～2018年11月19日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	15,135

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

**今後の運用方針**

主として、マザーファンドに投資を行い、マザーファンドを通じて、日本を除く世界各国の株式に投資を行います。また、実質外貨建資産の投資に当たっては、原則として為替ヘッジを行いません。

マザーファンドでは、主として日本を除く世界各国の株式を投資対象とし、MSCI コクサイ・インデックス(円換算ベース)に連動する投資成果を目指します。インデックス・ファンドの性格に鑑みて、ポートフォリオの最適化に注力してベンチマークとの乖離を極力低くしていきたいと考えています。

## お知らせ

該当事項はございません。

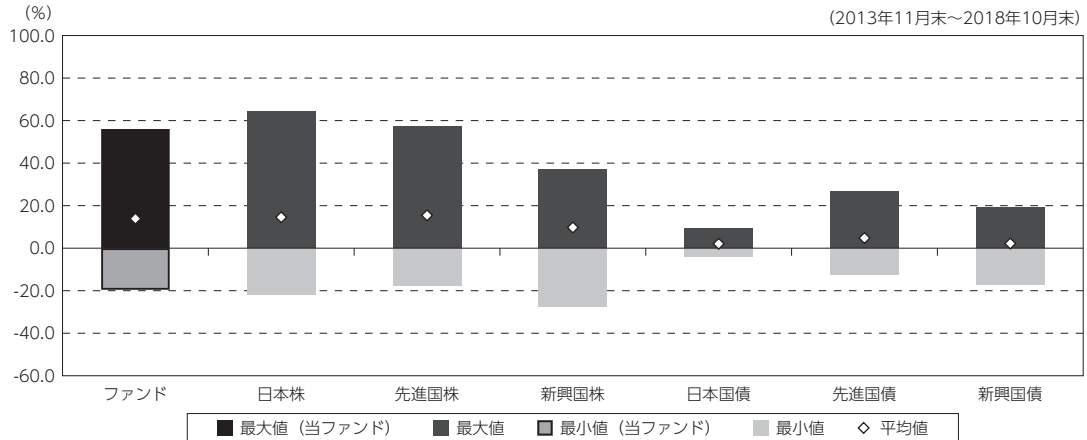
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	無期限	
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[MSCI コクサイ・インデックス・マザーファンド] 受益証券を主要投資対象とし、投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、積極的な運用を行うことを基本とします。</li> <li>・実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</li> </ul>	
主要投資対象	MSCI インデックス・セレクト・ファンド コクサイ・ポートフォリオ	MSCI コクサイ・インデックス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	MSCI コクサイ・インデックス・マザーファンド	世界各国の株式（DR（預託証券）およびカントリーファンドを含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主として、マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を除く世界各国の株式に投資します。</li> <li>・グローバルな収益機会を最大限に追求するため、MSCI コクサイ・インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果を目指します。</li> </ul>	
分配方針	原則として年1回の毎決算時（11月19日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に、委託会社が基準価額の水準等を勘案し、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。	



## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国国債	新興国国債
平均値	13.9	14.5	15.4	9.7	2.1	4.8	2.2
最大値	56.1	64.2	57.1	37.2	9.3	26.6	19.3
最小値	-19.6	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2013年11月から2018年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国国債：JPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、P11の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2018年11月19日現在)

## ○組入上位ファンド

銘柄名	第21期末
MSCI コクサイ・インデックス・マザーファンド	100.0 %
組入銘柄数	1銘柄

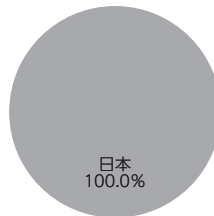
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

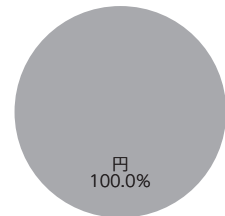
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

## 純資産等

項目	第21期末
	2018年11月19日
純資産総額	2,339,717,437円
受益権総口数	1,041,492,953口
1万円当たり基準価額	22,465円

\* 期中における追加設定元本額は77,205,570円、同解約元本額は91,545,130円です。

## 組入上位ファンドの概要

## MSC I コクサイ・インデックス・マザーファンド

## 【基準価額の推移】



## 【1万口当たりの費用明細】

(2017年11月21日～2018年11月19日)

項目	当期	
	金額 円	比率 %
(a) 売買委託手数料 (株 式 券) (投 資 信 託 証 券) (先 物・オ プ シ ョ ン)	4 (2) (0) (2)	0.014 (0.007) (0.000) (0.008)
(b) 有価証券取引税 (株 式 券) (投 資 信 託 証 券)	1 (1) (0)	0.003 (0.003) (0.000)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	13 (12) (1)	0.051 (0.046) (0.005)
合 計	18	0.068

期中の平均基準価額は、25,493円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

## 【組入上位10銘柄】

(2018年11月19日現在)

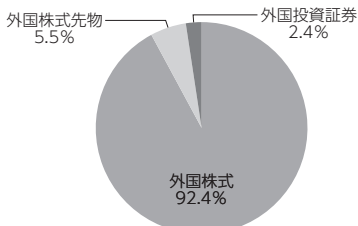
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率 %
1 S&P500 EMINI	株式先物(買建)	米ドル	アメリカ	3.6
2 APPLE	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	米ドル	アメリカ	2.5
3 MICROSOFT	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	2.1
4 AMAZON.COM	小売	米ドル	アメリカ	1.7
5 JOHNSON & JOHNSON	薬品・バイオテクノロジー・ライサイエンス	米ドル	アメリカ	1.0
6 JPMORGAN CHASE & CO	銀行	米ドル	アメリカ	1.0
7 FACEBOOK-A	メディア・娯楽	米ドル	アメリカ	0.9
8 EXXON MOBIL	エネルギー	米ドル	アメリカ	0.9
9 ALPHABET INC-CL C	メディア・娯楽	米ドル	アメリカ	0.9
10 ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	米ドル	アメリカ	0.9
組入銘柄数			1,327銘柄	

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

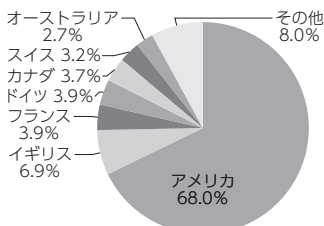
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

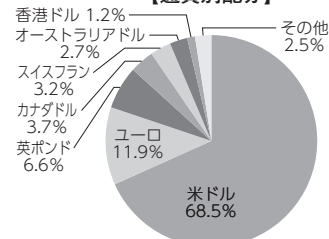
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

## ＜当ファンドのベンチマークについて＞

ベンチマークとして、MSCIコクサイ・インデックス（円換算ベース）を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

## ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

### ○TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

TOPIXは、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄の株価を対象として算出した指数です。TOPIXは、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

### ○MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。なお、円ベース指数については、委託会社がMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）に、当日の米ドル為替レート（WM/ロイター値）を乗じて算出しています。

### ○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

### ○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ○JPモルガンGBI – EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

JPモルガンGBI – EMグローバル・ダイバーシファイドは、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。円ベース指数については、委託会社がJPモルガンGBI – EMグローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）に、当日の米ドル為替レート（WM/ロイター値）を乗じて算出しています。

指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利はJPMorgan Chase & Co.及び関係会社（「JPモルガン」）に帰属しております。JPモルガンは、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。JPモルガンは、指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドを推奨するものでもなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。